

令和6年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見元	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
1	安心とくしまホームページについて、必要な情報を見やすい位置に配置する等、最適化してほしい。	審議会等	気象庁のキキクルをはじめ「視覚的情報」との連携強化や、3クリック以内で必要な情報を得られるといったアクセス環境の改善を行う等、安心とくしまホームページを刷新します。	とくしまゼロ作戦課
2	防災情報をより多くの県民にプッシュ型でお知らせするため、県公式LINEの登録者数をもっと増やす必要がある。	審議会等	県公式LINEの登録者数拡大に向けて、新たにデジタルマーケティング手法を活用したプロモーションを実施します。	とくしまゼロ作戦課
3	県には補助金等の助成をもっと充実させてもらい、家庭で出来る脱炭素化を呼びかけてもらいたい。	各パブリックコメント	県では、県民の皆様向けに太陽光発電設備や蓄電池、ZEHの導入支援を実施するとともに、走行時に排気ガスを排出しないEV(電気自動車)をはじめとするZEV(ゼロ・エミッション・ヴィークル)の普及拡大を促進し、車両の普及と充電インフラの整備を車の両輪として、一体的に推進することとしております。	グリーン社会推進課 脱炭素推進室
4	卒FIT後の蓄電池に対する補助を実施してほしい。	審議会等	固定価格買取制度(FIT)の買取期間が終了した、いわゆる「卒FIT」後における「電力の自家消費」を推進するため、卒FITの方を対象に、蓄電池単独の補助制度を創設します。	グリーン社会推進課 脱炭素推進室
5	EVの補助金について、国補助金との併給を可能にしてほしい。EVの充電を再生可能エネルギーで賄う要件を緩和してほしい。	その他業務活動内	国の補助金との併給が可能な定額の上乗せ補助とするとともに、EVだけでなくPHVも補助対象に加え、「動く蓄電池」として、EVからの外部給電を可能とする住宅用充放電設備(V2H)や可搬式の外部給電器(V2L)も補助対象に加ええます。また、再生可能エネルギーの活用についても、オプションとして「補助額の上乗せ」によるインセンティブを付与することで、EV導入と再エネ活用を併せて促進する補助制度を創設します。	グリーン社会推進課 脱炭素推進室
6	能登半島地震を踏まえ、南海トラフ巨大地震発災に備えた災害廃棄物の広域処理体制をどのように強化するのか。	審議会等	南海トラフ巨大地震など大規模災害に備え、国、市町村、関係団体と連携のもと、広域的な災害廃棄物処理訓練を実施します。	環境指導課
7	殺処分される犬や猫を減らす取組をして欲しい。	目安箱	飼い主のいない猫の不妊去勢手術の支援拡大や、譲渡適性のある犬猫の譲渡促進の他、生後間もない状態で収容された犬・猫のケアを行う体制を強化し、犬猫の殺処分の削減を図ります。	動物愛護管理センター
8	ふるさと納税の受入額を拡大するためには、市町村の担当と県の担当がしっかりと力を結んで、勉強会なり、知見を共有し合う機会が必要と思う。	審議会等	令和6年度当初予算において、ノウハウのある民間事業者を活用し、全国の最新事例を学ぶための「担当者向けセミナー」や県内自治体への寄附を検討している企業との「マッチング会」の開催を予定しており、市町村と県がしっかりと連携して取組を進めて参ります。	総合政策課
9	IターンやUターンを含め、女性に地元に残って定住してもらうための取組を、総力を挙げて考えていただきたい。	審議会等	女性のUターンを促進するため、女性ファッション誌と連携し、女性目線でとくしま暮らしを紹介する「移住ハンドブック」の制作や、働く女性のロールモデルとなる県内起業家等に相談できる「キャリアコンサルタント相談会」の開催に取り組んで参ります。	とくしまぐらし応援課

令和6年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見元	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
10	労働力不足を解消するため、都市部で開催される移住フェア等に県と一緒に出席し、県外から人材を呼び込みたい。	その他業務活動内	市町村をはじめ介護や建設等人材ニーズの高い関係団体が出席する本県主催の「移住フェア」の初開催に取り組んで参ります。	とくしまぐらし応援課
11	私立学校に通う世帯の経済的負担を軽減する施策を充実させてほしい。	その他業務活動内	国の制度拡充に呼応し、引き続き、高校生を持つ家庭への「奨学のための給付金」の増額や、専門学校生を持つ家庭への「授業料等減免費補助金」の支援対象の拡大など、支援の拡充を図って参ります。	総務課
12	DV被害者支援を行う民間団体への経済的支援(補助金)を継続して実施してほしい。	その他業務活動内	現在実施しているDV被害者支援を行う民間団体への活動支援について、来年度からは、DV被害者を含めた困難な問題を抱える女性に支援を行う民間団体に対象を拡充し、活動支援策を実施して参ります。	男女参画・人権課
13	男性の性暴力被害者への支援を実施してほしい。	その他業務活動内	男性の性暴力被害について、被害からの早期回復のためには適切な支援が必要であることから、被害者の支援体制を整備します。	男女参画・人権課
14	性的少数者が自分らしく生きられ、多様な在り方をお互いに受け止める社会の実現に向けて、 ・性的指向、性自認に関する広く正しい理解の増進を図るよう、諸施策に取り組むこと。 ・性的少数者に関わる諸施策の実施を保障するために、「徳島県パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度」を創設すること。	審議会等	令和6年4月より、性的マイノリティの方とパートナーがお互いを人生のパートナーとし、相互に協力して継続的に生活を共にすることを、公的に証明する「パートナーシップ宣誓制度」を実施します。 また、性的マイノリティの方が抱える精神的苦痛や生きづらさの解消に向け、他の当事者や支援者との交流会の場を提供するとともに、公認心理師等による相談やピアカウンセリングを実施します。	男女参画・人権課
15	中長期的な展望のもと、安全対策や競技力向上、環境整備、魅力あるイベントの実施等、本県のスポーツ振興に取り組んでもらいたい。	審議会等	来年度事業では、熱中症対策やAEDの適正配置等の安心・安全にスポーツできる環境づくりの推進、トップレベルの選手による小中高生を対象としたスポーツ教室等の開催、大会・合宿の誘致やスポーツイベントの充実によるスポーツツーリズムの推進等に取り組んで参ります。	スポーツ振興課
16	①産前・産後ケアの充実に向けたニーズ調査や、②ファミサポ事業の認知度向上に向けた取組、③多胎家庭への支援等を行うことで、子育て当事者に寄り添い、育児の孤立化を防ぎ、誰もが子育てしやすい環境を整備してほしい。	審議会等	①本県の実情に合わせた産前・産後ケアの充実に向け、妊産婦等へのニーズ調査を実施します。 ②ファミサポ事業の利用を推進し、地域のつながりや相互援助を促進するため、初回利用に係る経費を助成する市町村を支援します。 ③多胎児やリトルベビーなど、同じ悩みを抱える子育て家庭の交流会等を開催し、つながりの機会を創出します。	こどもまんなか政策課
17	保育施設への短期雇用派遣を可能にする仕組みを構築し、働きたい保育士が他業種へ流出することを防ぐなど、業界全体を巻き込み、保育人材等の確保を進めてほしい。	審議会等	年度途中の保育人材不足に対応するため、徳島県保育士・保育所支援センターが行う就職あっせん事業を活用し、短期雇用の保育士へ奨励金を支給する市町村を支援します。	こどもまんなか政策課
18	クラブ運営・育成支援・メンタル指導を一体としたアドバイザーチームを派遣し、こどもと大人が共に成長を実感できる学童保育を創ってほしい。	審議会等	放課後児童クラブが抱える、運営面や児童への対応等の課題を解決するため、専門知識や豊富な経験を有する「アドバイザー」を県で委嘱し、クラブへ派遣、助言を行います。	こどもまんなか政策課

令和6年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見元	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
19	地域に眠るスキルやリソースを掘り起こし、子どもたちに学校では得られない様々な体験機会を創出してほしい。	審議会等	児童の多様な体験活動等の機会を確保するため、その機会を提供する「サポーター」を募集、登録するとともに、クラブ等へ派遣を行う市町村を支援します。	こどもまんなか政策課
20	子どもの医療費助成について、助成の対象を拡充してほしい。	その他業務活動内	県の「子どもはぐみ医療費助成制度」について、助成対象を18歳まで拡大し、所得制限を撤廃するとともに、入院に係る医療費を「完全無償化」するなど、大幅に拡充し、当該事業を実施する市町村を支援します。	こどもまんなか政策課
21	不妊治療に係る経済的負担を軽減し、県下全域での取組を推進してほしい。	その他業務活動内	妊娠を希望する夫婦を支援するため、新たに、不妊治療(生殖補助医療)に係る助成制度を創設し、当該事業を実施する市町村を支援します。	こどもまんなか政策課
22	ゲートキーパーの養成に加え、もっと身近なところで気軽に「傾聴」などのサポートを行う人材の育成に取り組むべきではないか。	審議会等	家庭や職場、地域など日常生活の中で、身近な心の支えとなる相談役として、「心のサポーター」の養成に取り組んで参ります。	国保・地域共生課
23	医師不足にならないように、県として医師の確保や育成に取り組んでほしい。	各パブリックコメント	将来の本県医療を支える医師の安定的確保のため、県外出身医学部生への「一時金支援制度」や県外進学医学部生への「奨学金制度」の創設など、新たに一步踏み込んだ幅広い施策を展開して参ります。	医療政策課
24	フレイルについて、後期高齢者が40年前からかなり増えている事を考えると、本格的な対策が必要ではないか。 また、フレイル予防を進めるために、認知度を確認した方がいいのではないか。	その他業務活動内	専門職と連携し、データに基づくフレイル予防モデルを作成し県内市町村へ普及を図るとともに、高齢者だけでなく幅広い世代にフレイル予防を意識していただくため、「フレイル予防県民デー(仮称)」を創設し、イベントなどを通じて認知度向上に努めて参ります。	長寿いきがい課
25	重度の障がいがあっても、地域で安心して暮らしていけるよう、グループホーム等の住まいや福祉サービスを充実させてほしい。	その他業務活動内	強度行動障がい有者の方の「グループホーム」の施設整備費に対する支援を行うとともに、「行動援護」や「短期入所」が安定的に提供される体制整備への支援を行って参ります。 また、医療的ケア児等に対して、「徳島県医療的ケア児等支援センター」を拠点として、訪問看護等在宅サービスの充実を図るとともに、災害時等の緊急対応に向け、「非常用電源」の貸与を行い、災害時支援の強化を図って参ります。	障がい福祉課
26	経営者の高齢化や後継者の不在により、やむを得ず廃業を選択する事業者が増えつつある中、価値ある経営資源を次世代に承継するため、譲渡希望事業者の「掘り起こし」を進めてもらいたい。	その他業務活動内	譲渡希望案件の「掘り起こし」、「見える化」や「マッチング」を促進する「M&A促進奨励金」を創設するとともに、商工団体や士業専門家にM&Aプラットフォームを加えた「M&A型事業承継促進コンソーシアム」を構築し、M&Aをはじめとした事業承継を促進して参ります。	商工政策課
27	外国人労働者が増加する中で、外国人の就労定着にどのように取り組むのか。	審議会等	相談体制の充実や、新たに「日本語能力試験対策講座」を実施するなど、外国人が働きやすい環境を整備し、雇用を促進して参ります。	労働雇用戦略課

令和6年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見元	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
28	大型イベントの開催時等において宿泊キャパシティ不足のため、多くの旅行者が日帰りや近隣県に流れてしまうといった現状がある。特に富裕層のニーズに耐える施設の少なさを懸念している。	審議会等	宿泊キャパシティの拡大や、観光消費額の増加に向け、現在策定を進めている戦略に基づき、ホテル事業者・デベロッパーに対する誘致活動を戦略的・積極的に取り組んで参ります。	観光政策課
29	今まで以上に省力的で生産性の高い園芸産地を育成し、更なる生産力強化を図ってほしい。	その他業務活動内	園芸品目の生産力強化と次代を担う人材の育成・確保を図るため、生産性・収益性向上に資する機能を備えた「施設園芸団地」の整備を支援して参ります。	みどり戦略推進課
30	人口の減少により規模が縮小する国内市場に対して、急成長する海外市場向けの輸出拡大に積極的に取り組む必要がある。	その他業務活動内	農林水産業の持続的な発展に向けては、輸出が有効な手段となり得ると考えており、輸出先のニーズや規制に対応した産地育成に取り組むとともに、積極的な海外プロモーションを展開して参ります。	もうかるブランド推進課
31	県産農林水産物をより高い価格で販売できるよう、様々な手法でブランド力の強化に取り組む必要がある。	その他業務活動内	高いブランド力や発信力を持つ企業との連携や大消費地での集中的なイベント実施、SNSの活用など、県産農林水産物のブランド力の強化に向け、戦略的に魅力を発信して参ります。	もうかるブランド推進課
32	林業従事者で心身の病気により、働くことが難しくなる場合があることから、林業においても産業医のような仕組みを取り入れられないでしょうか。県全体で1つ窓口があれば、林業従事者が長く働ける可能性があるため、検討してほしい。	審議会等	林業経験豊富な職員がきめ細やかに対応する相談窓口を設置するとともに、就業間もない方に対してアンケート調査やメンターサポート等を実施するなど、定着率の向上に取り組んで参ります。	スマート林業課
33	マスコミでも幾度となく取り上げられ、注目度も高い「養殖サツキマス」について、「安定生産」や「販路開拓」を推進することで、本県ならではのブランド養殖魚を創出して欲しい。	審議会等	採卵から出荷まで、すべての工程を県内で完結させる、徳島ならではの「純・徳島県産養殖サツキマス」について、新たなブランドの創出を目指し、生産技術の改良とブランド化に向けたPRIに取り組んで参ります。	水産振興課
34	全国有数の生産量を誇るわかめ、すじ青のり等の海藻養殖について、海水温の上昇や貧栄養化に伴う生産量・品質の低下が心配されることから、漁場環境の変化に対応した技術の開発、改良を推進してほしい。	審議会等	海水温の上昇により、冬の間も活発に海藻を食べ始めた「アイゴ」等による深刻な「食害」の防止に向け、漁場環境データや水中映像をもとに、養殖わかめ等の「食害・防除技術」の開発に取り組んで参ります。	水産振興課
35	「道路占用管理システム」に続き、他の公共施設も電子申請化してほしい。	その他業務活動内	令和5年度に運用を始めた「道路占用システム」に続き、「河川・砂防・都市公園」における申請手続きがオンラインで行えるよう、システムの構築に取り組んで参ります。	都市計画課 水管理政策課 河川整備課 砂防・気候防災課
36	洪水被害を未然に防ぐため、堆積土砂の除去や立木伐採、及び堤防の草刈りなど、適切な維持管理を実施してほしい。	その他業務活動内	定期的な河川巡視のもと、治水上支障があると認められた箇所については、適切に対応し、「治水機能の確保」に努めております。 引き続き、堤防点検や河川周辺環境維持に必要な草刈りを行うとともに、浸水被害の軽減を図るため、「樹木伐採」や「河道掘削」を進めて参ります。	河川整備課

令和6年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見元	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
37	異常気象に伴う豪雨等による浸水被害を解消するため、これまで以上に、河川改修を加速して欲しい。	その他業務活動内	河川整備などのハード対策は、「再度災害防止」の観点から、浸水被害を受けた箇所から重点的に整備を進めております。 さらに、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」や「有利な財源」を積極的に活用し、洪水を安全に流すための対策(堤防整備・河道拡幅)を推進して参ります。	河川整備課
38	河川・海岸施設の地震・津波高潮対策を推進してほしい。	その他業務活動内	地震・津波による被害の軽減を図るため、河川・海岸の堤防や水門等の地震・津波高潮対策を推進して参ります。	河川整備課 運輸政策課
39	阪神港との国際フィーダー航路は週1便しかなく、トラック輸送に頼らざるを得ない。コンテナ物流の効率化のため、国際フィーダー航路を新たに開設する船社へ支援してほしい。	その他業務活動内	県内企業の物流効率化を推進するため国際コンテナ戦略港湾(阪神港等)と徳島小松島港を結ぶ新たな国際フィーダー航路を開設する船社を支援して参ります。	運輸政策課
40	自主防災組織を活用して情報を流す仕組みを作っていただきたい。	審議会等	地域防災力向上を図るため、防災士を含む自主防災組織等のネットワークを活用して参ります。	南部総合県民局
41	県南部の魅力的な素材を活用した観光コンテンツづくり、ブラッシュアップに取り組んでほしい。	その他業務活動内	四国の右下観光局や関係団体等と連携し、山・川・海の三拍子揃った豊かな自然や伝統ある歴史・文化を活用した観光コンテンツづくり、ブラッシュアップに取り組んで参ります。	南部総合県民局
42	高齢化により集落機能の維持が困難となっている。新規就農者が農業に取り組みやすいよう、初期投資軽減への支援をお願いしたい。	その他業務活動内	新規就農者の確保に向け、施設整備や農機具確保の負担を軽減すべく、遊休施設・機具の活用検討や農業支援サービス事業者の育成等、地域の財産(人・もの・土地)をフル活用する取組を進めます。	南部総合県民局
43	県産の備長炭が地域内外で認められるような取組をしてほしい。	その他業務活動内	県産備長炭の認知向上や需要拡大を図るため、関係機関と協力し効果的なブランディングに取り組んで参ります。	南部総合県民局
44	にし阿波に訪れる人の流れを積極的に作っていくべき。観光コンテンツを増やしていくことが重要であり、魅力発信に力を注いでほしい。	審議会等	にし阿波ならではの自然、歴史、文化など、魅力ある地域資源を活用した新たな観光コンテンツづくりや戦略的な情報発信により、にし阿波へのさらなる誘客に取り組んで参ります。	西部総合県民局
45	新規就農者の栽培技術向上のため、指導農家との架け橋となる役割や研修受入れに対する支援なども検討してほしい。	審議会等	にし阿波の地域資源である「周年いちご」を核に、農家や農業法人等と連携して、新規就農者の受入れ体制を構築し、栽培研修等の就農支援に努めて参ります。	西部総合県民局
46	子ども時代の身体活動や健康は、大人になってからの体力や健康に影響することから、継続して生活習慣に関する正しい知識の普及啓発に努めてほしい。	審議会等	子どもに対して健康に関する出前講座等を実施するとともに、学校給食の際に健康に関するアドバイスを記したカードを配布するなど、継続して生活習慣に関する正しい知識の普及啓発に努めて参ります。	西部総合県民局

令和6年度当初予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見元	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
47	県立高校のタブレット故障多発について、前回の反省を活かし、高品質なものを子どもたちに届けて、1人1台の状態に戻してほしい。	審議会等	端末の調達にあたっては、副知事をトップに専門家などで構成する教育DX加速化委員会を設置しており、今後は、当該委員会において検討いただきながら、端末の再整備や更新を進めて参ります。	教育政策課
48	海部高校の寮が不足しているため、旧海部病院を海部高校の寮として活用して欲しい。	審議会等	海部高校における県外からの入学希望者の増加に対応するとともに、海部高校の更なる発展や若者と地域の交流による賑わい創出を図るため、旧海部病院を「第3海部寮」として整備して参ります。	教育創生課
49	海外渡航や滞在に係る経費が高騰していることから、高等学校が海外研修や姉妹校訪問をするための支援をお願いしたい。	その他業務活動内	県立中高生の海外研修の参加費用及び高等学校の海外姉妹校交流経費への支援に係る予算について、増額の計上をしています。このことにより、海外体験を通じた、国際社会で必要とされる資質・能力やグローバルな視点の育成の促進に努めて参ります。	学校教育課